

# 令和2年救命救急センターの充実段階評価の 結果（報告）

- 救命救急センターの充実段階評価については、充実度を評価することにより、個々の救命救急センターの機能の強化、質の向上を促し、もって全国の救急医療体制の強化を図る目的で実施されており、「評価点」及び「是正を要する項目」を用いた評価を行うこととしている。
- 「評価点」及び「是正を要する項目」のいずれについても改善に向けた不断の取組を求める観点から、毎年評価区分の引き上げを実施している。
- 調査①では10項目中8項目に、調査②では20項目中10項目において、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが示唆された。（※調査①と調査②では影響を受けた項目のうち2項目が重複。）
- 上記を踏まえ、令和2年の充実段階評価においては、以下のような対応とすることとしてはどうか。



新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが示唆された**16項目全てについて充実段階評価の「評価点」及び「是正を要する項目」から除外する**例外的な対応を行うこととし、充実段階評価の段階的な引き上げ（令和2年実施分）については、予定通り引き上げを実施することとしてはどうか。

## 例外的な対応とする場合のシミュレーション結果

(全292施設)	令和元年実績	令和2年試算※
S評価	76施設	92施設
A評価	209施設	195施設
B評価	7施設	5施設
C評価	0施設	0施設

※令和2年実績が、令和元年実績と同一と仮定した場合に、16項目全てを充実段階評価の「評価点」及び「是正を要する項目」から除外する例外的な対応を行った上で、評価区分の引き上げを行った場合の各評価区分のシミュレーション結果。

(参考)

(全292施設)	令和元年実績	令和2年試算※
S評価	76施設	49施設
A評価	209施設	197施設
B評価	7施設	43施設
C評価	0施設	3施設

※令和2年実績が、令和元年実績と同一と仮定した場合に、上記の例外的な対応を行わず、評価区分の引き上げを行った場合の各評価区分のシミュレーション結果。

# 令和2年の救命救急センター充実段階評価の結果

- 令和2年の救命救急センターの充実段階評価については、評価項目の一部を除外する例外的な対応及びヒアリングを行った上で評価を実施した。
- その結果、S評価が104施設\*、A評価が189施設、B評価が2施設、C評価が0施設となった。
- なお、令和元年の評価結果から評価が下がった施設は0施設であった。

	令和2年評価 (今回の評価結果)	(参考) 令和元年評価	(参考) 令和2年評価 (例外的な対応をしな かった場合)
S評価	104施設*	76施設	41施設
A評価	189施設	209施設	208施設
B評価	2施設	7施設	44施設
C評価	0施設	0施設	2施設
計	295施設	292施設	295施設

※ S評価となった104施設のうち、調査結果を基にヒアリングを実施した結果、A評価⇒S評価とした施設が1施設あった。